

はじめに

このたび2013年度の情報化調査の結果をとりまとめました「LS研ICT白書」を刊行いたしましたので、ご報告申し上げます。

本調査は、LS研発足時より毎年実施しており、今年で35回目を迎えます。今回は、158会員から回答をいただきました。ご協力に改めて御礼申し上げます。

本調査では「会員企業におけるICT活用に関する調査」を目的に、従来調査項目の定点観測に加え、2012年度に引き続きスマートデバイスのエンタープライズ活用、加えて本年度はトピックスとして次世代コミュニケーション基盤の新規設問を設定し、現在並びに将来に向けての会員企業のICT活用動向を調査しております。

東日本大震災以降、事業継続や災害対策を重要課題とする傾向は本年度も継続していますが、情報システム部門の戦略企画機能強化を重要課題とする傾向は益々加速する傾向が顕著となってきています。本年度はこれらに加えて、これまで事業部門に分散していた情報システム機能をコーポレート部門に集中しようという動きがでてきております。

2012年度に顕著になったスマートデバイスのエンタープライズ活用はここ1年で大きな進展が見られます。ほとんどの企業で積極的な活用への取り組みが見られ、懸念事項として上がっていたリスクへの対応について一定程度の自信がついたことがうかがえるようになってきています。

また、本年度のトピックスである次世代コミュニケーション基盤では、かなりの数の会員企業で社内SNS(エンタープライズSNS)の企画が進んできており、従来の電子メールなどから、知識共有・コラボレーションの新たな仕組みの構築をしていこうという動きも見えてきております。

本白書では、このような企業情報システムが今後取り組まなくてはならない事柄に焦点をあて、会員企業へのアンケートという形で可視化し、その傾向をいち早く掴み取りたいと考えております。会員の皆様方におかれましては、今後の情報システム部門のあり方を考えるための一助としていただければ幸いです。

なお、本白書は会員内部でのICT活用に関する情報提供を目的として、会員皆様に限定して配付いたしております。

LS研では2013年度は「Challenging Innovation」をスローガンに掲げ、最先端ICTの利活用による経営革新へ貢献するための活動を展開しております。そして会員企業の成長や個人の成長を目指します。今後とも、皆様のご協力を得て情報化の発展に役立つ情報を提供すべく努力してまいりますので、内容に関する忌憚のないご意見・ご感想をお寄せいただきたく存じます。

最後に、会員各位の益々のご発展をお祈り申し上げます。

2013年10月

FUJITSUファミリ会LS研究委員会

幹事長 黒野尚

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社 常務取締役